

KTK いつみ福祉会を 守る会だより

2020. 冬 NO.60



☆サービスセンターいつみ☆
～みんなで飯ごう炊飯～



新年のご挨拶

令和の御代に替わって初めての新春を、皆様にはお健やかに迎えられたこととお慶び申し上げます。旧年中はいつみ福祉会の運営に格別のご理解とご支援を賜り、誠に有難うございました。

本年は、オリンピック・パラリンピックの開催年、とりわけパラリンピックへの期待が大きくなってきているのは嬉しいことです。しかし、障害者支援の環境はますます厳しくなっています。国の施策は、平成18年の障害者自立支援法の施行以降も小刻みに改正がなされ、今後も必要な措置を講ずると甘言を付け加えています。厚生労働省の推計では、身体障害児者436万人、知的障害者108万人余、精神障害者382万人余で、国民のおよそ7.4%に当たりその割合は増加傾向にあります。また、障害福祉サービスの利用者は、平成

社会福祉法人 いつみ福祉会 理事長 坂本 利正

30年3月には112万人余で、この4年間で28万人増加しています。

一方サービスを担うべき人材の確保は、少子高齢化の進展による生産労働人口が減少する中で一層深刻化しています。障害者支援は障害者の命を守ることであり、国民的課題であります。これまでのような対処療法ではなく、何よりも障害者の視点でしっかりと将来を見据え、真の福祉国家日本を実現しなければなりません。

いつみも役職員一同、本年も運営の安定とご利用者の安心を確保し続けるために邁進することを再認識し、年頭に当たってのご挨拶とさせていただきます。

皆様の倍旧のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。



「地域で暮らす」を考える 第2回

わたしの地域生活

～ひとり暮らし編～

いづみ福祉会の経営理念に「地域社会」「地域とのかかわり」とのことばがあります。いづみがまだ共同作業所だった頃は地元の運動会に作業所として参加させていただいたり、夏祭りにご近所の方をお招きしたり…といったように“集団”として「地域とのかかわり」を深めていた側面がありました。やがて時代が進み、福祉サービスが増え、障害をもつお一人おひとりが“個別”のニーズを満たせるようになった昨今、「地域とのかかわり」は街に溶け込むように暮らすことも含まれつつあるように思います。そんなご利用者の生活を紹介しているシリーズの第2回目、今回はご利用者の「ひとり暮らし」をご紹介します。

まず、お一人目は…

地域活動支援センターと
ワーキングサポートちくたく、
相談支援センターを
ご利用のYさん

Q. ひとり暮らしのきっかけは？

両親が亡くなり、姉は結婚して家を出たので、1人暮らしになりました。家に荷物もいっぱいあり、引っ越そうとは思わなかったため、そのまま住んでいます。

Q. ひとり暮らしのいいところは？

好きな時に起きて、好きなときに寝ることが

できる所です。テレビも自由に見ることができます。家族と一緒に住んでいた時は、遅くまでテレビを見てると家族にテレビを切られていましたが、今は自由に見ることができます。

Q. ひとり暮らしの困るところは？

病気になった時は困ります。病気の時は困りますが、向かいに住んでいる親戚や離れて暮らしている姉に助けられています。他には、大きなゴミがある時、1人で出せなくて困ります。父が家の立て替えのために木材を用意していたのですが、その処理には困りました。町長さんに話すと、老人会の人たちに持って行ってもらえました。

Q. どのような支援サービスを使っていますか？

月に1回、訪問看護師の方に来てもらっています。いづみ福祉会では、地域活動支援センター、ワーキングサポートちくたく、相談支援センターを利用しています。いづみ福祉会に繋がる前に退院した時、家に戻ったけど、友達もおらず、同世代の人もいない中で過ごし、再入院になりました。いづみ福祉会を利用することを条件に退院してからは、居場所もあり、1人の家でも過ごすことができます。支援職員の方に関わってもらい、近い通院先にも通えるようになりました。



Q. 地域とのつながりはありますか？

いづみ福祉会で作業をするため、電車を毎日利用するようになりました。初めは毎回切符を買っていたけど、回数券の方がお得なことを、駅員さんから教えてもらったりしました。また、墓掃除、草刈りなどを地域の活動として行っています。家族と一緒に住んでいた時は、親が参加していました。

1人暮らしになってからは、声もかからなかったため、参加していませんでした。でも、回覧板でそのような活動があることを知り、自分から親戚に頼んで参加するようになりました。それから、散歩を毎日していますが、いっぱい採れたからと言われ、近所の人に野菜をもらえることがあります。

Q. これからどうしていきたいですか？

元気なうちは良いですが、年を取ってきた時の1人暮らしは不安です。家が修理の必要な部分が増えてきていたり、近くにお店も少ないことも不安です。なので、将来はグループホームなどに入ることができれば良いなと思っています。



Yさんを支援する職員へ…

Q. 地域活動支援センターではどのような支援をしていますか？

現在はTVがつかなくなった、給湯器が壊れた、エアコンを買い換える…といった生活の部分での困り事を中心に相談をお受けています。

続いて、お二人目は…

ワーキングセンターとサービスセンター、相談支援センターをご利用のHさん

Q. ひとり暮らしのきっかけは？

実家からワーキングセンターに通うのは遠いので、近くに住んで通う回数を増やしたいと思ったからです。また、親から自立したいとも考えました。

Q. ひとり暮らしのいいところは？

親と離れると考えた時、グループホームではテレビのチャンネル争いになったり、それで困ってしまいそうだったもので、静かに住める一人暮らしを選びました。静かなことが一番です。

Q. ひとり暮らしの困るところは？

とくに困ったことはありません。

Q. どのような支援サービスを使っていますか？

ホームヘルパーさんに、週3日、1日1時間半と、1時間来てもらっています。ヘルパーさんとは付き合いが長くなり、仲良しです。後、ガイドヘルプを利用して余暇を楽しんでいます。訪問看護師さんに週1回来てもらっています。

Q. これからどうしていきたいですか？

一人暮らしを続けていきたいと思っています。日数を増やしていきたいです。



お母さんより…

一人暮らしをして、一人でできることが増えました。できないことは支援してもらいながら、これからも続けていってほしいです。

ワーキングセンターいづみ 旅行だより



ワーキングセンターいづみでは、10月に恒例の秋の旅行に行ってきました。1年間作業をがんばってお給料から積み立てをして、待ちに待った念願の旅行です！
楽しかった2回の旅行の様子をご報告したいと思います。

日帰り旅行 ～あべのハルカス～ 10月1日（火）

今年度の日帰り旅行では『あべのハルカス！ ホテルで宴会』をテーマに日帰り旅行に行ってきました。

都ホテルの宴会では、色とりどりの美味しい食事（その後、たびたびあの時のお肉おいしかったな～と話題にあがりました。）を堪能し、カラオケではみんなで歌って大いに盛り上がりました！

その後は、あべのハルカスに登りました。良い天気恵まれ、展望台からの眺めは最高で、窓にはりついて、地上300mの絶景にハラハラドキドキ！お土産コーナーでは買い物を楽しんだり、ほっこりとティータイムをして楽しんだりと…楽しいひとときを過ごしてきました。
(塚本)



1泊旅行 ～大阪～ 10月11・12日（金・土）



今年の一泊旅行は大阪へ！1日目は宝塚北SAに立ち寄ってから、ホテル不死王閣に向かいました。宝塚北SAでは、手塚治虫やベルサイユのばらに関連した商品などがあり、各々ショッピングを楽しみました。ホテル到着後はホテル内の温泉で疲れを癒しました。広々とした露天風呂では談笑しながらゆっくりまったりと過ごしました。夕食時は恒例の宴会です！職員によるTT兄弟も登場！宴会をさらに盛り上げてくれました。美味しい食事を頂きながら、歌って踊って、楽しいひとときを過ごしました。

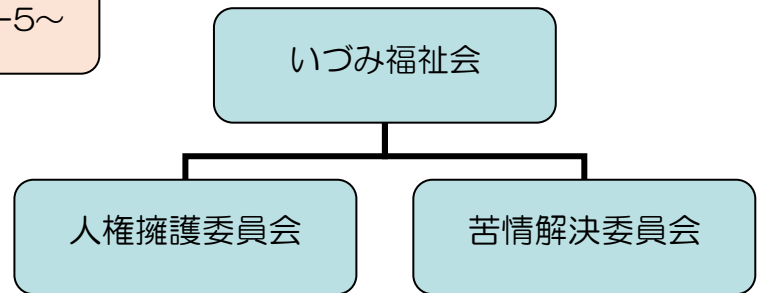
2日目は海遊館を予定していましたが、台風19号の影響により中止…。非常に残念でしたが、「それでも楽しかったよ！」とみなさんから感想を言ってくれました。急な予定変更もありましたが、その分ゆったりとした時間を過ごすことができた旅行となりました。
(竹田)



いづみ福祉会 委員会 ～紹介リレー5～

前回までの4回で、いづみ福祉会が事業所を超えて協議する場として設置している4つの委員会をご紹介してきました。(衛生委員会、安全運転委員会、防災委員会、研修委員会)

今回は法人として、設置している2つの委員会をご紹介したいと思います。(土井)



人権擁護委員会

人権擁護委員会は、ご利用者の安全と人権擁護の観点から、虐待の防止とその適切な対応を推進することを目的に設置しています。

外部委員として、弁護士さんやボランティアさん、保護者の代表の方にも加わっていただき、虐待防止や人権擁護について、様々な視点から活発な議論をいただき、検討を行っています。

現在、いづみ福祉会では、委員会で作成した虐待防止マニュアルにそって取り組みを行い、虐待防止に対する啓発と人権擁護の観点から職員教育を行なっています。毎年度末に全職員に「支援の振り返りアンケート」を実施し、職員の悩みや不安を把握し、年2回の人権擁護研修会で学びにつなげています。今年度後期の人権擁護研修会の報告は次号にて報告をさせていただきます予定です。

構成メンバー

理事長、理事2名、監事1名、
外部委員(弁護士、ボランティア、
保護者：各1名)、各施設長

苦情解決委員会

苦情解決委員会は、いづみ福祉会が提供する障害福祉サービスに対するご利用者からのご要望や苦情に対して、適切な対応を行うことにより、ご利用者の権利を擁護し、事業の適切な改善を図るとともに、法人の社会的な信頼を向上させることを目的に設置しています。

現在、いづみ福祉会では、各事業所に苦情受付担当者と苦情解決責任者を配置し、苦情解決のしくみをつくり、対応をしています。また、事業所には伝えにくい場合の苦情を受け付ける窓口として、外部の苦情解決第三者委員を2名の方をお願いしています。各事業所で受け付けた苦情についても、必要に応じて、第三者委員の方にも入っていただき、事例ごとに検討をしています。その他にも、京都府に設置されている福祉サービス運営適正化委員会にもご指導を受けながら取り組んでいます。委員の皆さんや他機関とも連携し、よりよい支援を目指して、今後も取り組んでいきたいと思っています。

構成メンバー

理事長、理事2名、
苦情解決第三者委員2名、各施設長



絵手紙で暑中見舞いを描こう！！

京都府女性の船「ステップあげぼの」 廣尾 操

私は、ワーキングセンターいづみで看護師として勤務しています。また、地域女性リーダーとして、豊かな地域社会づくりに寄与することを目的とする団体、京都府女性の船「ステップあげぼの」の相楽支部会計の担当も行っていきます。毎年4月当初に今年度の事業計画を進める会議を行っていますが、今年は地域に結び付ける何かがないかと話し合いが行われ、たどり着いたのが、ハガキに絵手紙で暑中見舞いを描こう！！というイベントを企画しました。

ハガキには私自身にもそれなりの思いがありました。私の勤務している現場では、重度の障がい者のご利用者が牛乳パックを再生し、1枚1枚丁寧に紙すきハガキを作っています。このハガキを使うことにより障がい者に対する理解と認識を深められないかと考えたからです。

当日は20数名の参加があり、そのハガキに真っ赤なトマトや美味しそうなおリンゴなどを描き、出来栄えに感動の声があちこちで聞かれました。

たった一枚の絵手紙ですが、それは優しさをも伝える力を持っており、コミュニケーションの輪を広げることができると実感しました。参加者からは、ハガキは絵の具がのりやすく描きやすかった、一人暮らしの母から上手いなと電話があったなどのうれしいコメントをいただきました。



相楽郡東部ふれあう親の会・いづみ家族会共催学習会！

いづみ家族会 松原 雅子

11月7日（木）、家族会22名、リトルふれんど1名、地域活動支援センター2名、いづみ福祉会の土井知恵総務部部長の参加で学習会が開かれました。

午前の部は、木津川市健康福祉部社会福祉課の方々のお話でした。「木津川市障害福祉計画（第5期）」の概要、地域生活支援拠点等の整備について、また9月より配布を始めた「もっとこファイル」の紹介など1時間余にわたってご説明、その後の質疑応答も活発に行われました。「障がい者がその人に合ったあり方で安心して地域で暮らしていけるように、福祉サービスの提供体制の整備・充実を図り、支援体制を構築していく」というお話に、親として力をもらいました。しかし具体的な道筋はまだこれから。多くの人の知恵を集結させていただいて、よりよい社会が実現されることを期待したいと思いました。

午後の部はグループに分かれ、午前の感想や今抱えている問題・思いについての意見交流を行いました。お茶を飲みながらざっくばらんに話し合い、有意義な時間を過ごすことができました。

一日を通して学んだこと、考えたことを今後に繋げていき「親亡き後」問題の答えを見つけていきたいと改めて思ったことでした。



ワーキングセンター



早小架の販売会 案内

- 1月12日(日)～1月19日(日) プチ販売会
- 2月27日(木)～3月4日(水)
- 3月11日(水)～3月18日(水)
- 4月22日(水)～4月28日(火)
- 5月16日(土)～5月25日(月)

場所：奈良町物語館
 時間：11時～17時
 ※土日祝日のみ 10時開店

奈良町物語館販売では、月ごとにコンセプトを決めて、季節感を感じていただける商品作りをご利用者さんと共に進めています。最近では、染色が難しかったログウッド(紫)のショールがきれいに染めあがっており、お店に並ぶとすぐに売り切れてしまう人気です。新作の鞆も登場します！販売会の回数もずいぶん増えました。売上アップ！やりがいアップ！で頑張っています。(塚本)

イベント販売会 案内

- 1月12日(日)ものづくりフェア(高の原イオン)
- 3月1日(日)奈良の空カラ(JR奈良駅前広場)
- 3月7日(土)公民館祭り(加茂文化センター)

パン、ラスク、草木染め商品
 なべしきなど心を込めて作った
 商品を販売します♪

サービスセンター

～ 東映太秦映画村に行ってきました！！ ～

11月16日(土)、とお～～～ってもさわやかな秋晴れのもと、土曜デイサービスご利用者の方々15名と東映太秦映画村へ遠足に行ってお参りました！

現地では折りしもコスプレイベントが開催されており、アニメのキャラクターなどに扮した人たちがたくさんいて普段とは少し違う雰囲気の映画村でしたが、ご利用者の皆さんはそれも楽しみながら過ごしておられました。グルメに舌鼓を打つ方、迫力の忍者ショーや華やかなおいらん道中に見とれる方、アトラクションでエン

ジョイされる方、忍者装束や新撰組の衣装に身を包みバッチリポーズで写真を撮られた方、皆さん思い思いの過ごし方で秋のひと時を満喫されていましたよ！ステキな思い出になれば良いです☆(丸岡伸行)



記念写真 パシヤリ♪

今月号からカラーでの発行に挑戦しています。
 まだまだ不慣れですが、今後ともよろしくお願ひします。



会費納入ありがとうございました！！



2019年度の会費納入をお願いします。同封の振込用紙をご利用ください。
個人会費は一口1,000円、団体（法人）会費は一口3,000円です。
法人の窓口を持って来ていただくことも大歓迎です。

会費納入をいただいた方々です。（敬称略、順不同）
（2019年9月28日～12月11日受付分）

藤村 信子	森下 譲二	新谷 裕美	藤田 泰久	北辻 正彦
地曳 高士	河口 弘信	山口 明美	鳥本 キク子	北辻 智美
古城 笑子	山本 安延	木村 恵子	鳥本 一匡	杉若 良子
北村 綾子	玉置 修三	岩口 佳子	河口 靖子	田中 道子
安見 和代	宮崎 栄子	柳沼 俊一	高原 和子	伊藤 美恵子
吉田 純子	富満 通男	金辻 佳子	新谷 進弘	伊藤 美津子
北口 隆吾	松田 幸雄	吉田 和文	阿部 洋子	山本 しのぶ
白井 謙	杉岡 照美	竹中 和子	平尾 美月	大久保 愛
仲 政軌	馬場 勝幸	黒川 嘉代子	北村クリニック	光明山聖法院
タツタ電線株式会社		有限会社石田電機工業所		

*郵便局からの情報が届くまでに時間がかかり、この期間にお振込みをいただいたにもかかわらず、お名前を掲載できていない方がおられる可能性があります。ご迷惑をおかけし、申し訳ありません。

ご寄付ありがとうございました

いづみ福祉会および守る会に多くの方々からご寄付をいただきました。ありがとうございます。

（2019年9月28日～12月11日受付分）お名前をご紹介します、お礼に代えさせていただきます。（順不同）

田中 道子様	山口 伸一郎様	北辻 正彦様	村上 智乃様	小出 耕資様
平木 孝司様	山岸 陽子様	馬場 久代様	井倉 万翼様	高山 純子様
森山 和子様	廣尾 操様	深山 國男様	岡本 光里様	新居崎 真弥様
前田 安廣様	前田 眞佐美様	石崎 敬子様	新井 真代様	来住 弘之様
林 良美様	柴田 雅弘様	山際 久江様	白山 孝則様	山田 多賀子様
伊地知 節子様	富岡 由美様	河原 凱栄様	荒川 智行様	大槻 伸様
木津川市更生保護女性会様		みかのはらいきいきサロン様		

現金、商品券、食器類（茶碗、コップ、湯飲み、皿、）鍋、半紙、毛糸、雑巾、洗剤、タオル、ハンカチ、ファイル、ビーズ、かご、雑誌、タープ、クリスマスツリー、シャツ、DVD、ポータブルトイレ、オムツ、ポンプ、ゴミ箱、座布団、掃除機、木の実、お菓子、りんご、みかん、コーヒー、味噌、冬瓜、かぼちゃ、大根

ご寄付いただいたものは、有効に活用させていただいております。厚くお礼申し上げます。
また、ご家庭に不要なタオル、ご飯茶わん、電気ポット、掃除機、食洗器、洗濯洗剤、マグカップ、お湯呑み、雑巾、ビーズ、長靴（大人用）、家庭用ミシンがありましたら、よろしくお願ひします。

編集 いづみ福祉会を守る会

連絡先 社会福祉法人 いづみ福祉会 内

〒619-1143

京都府木津川市加茂町観音寺石部8番地

TEL:0774-66-4114 FAX:0774-76-0070

URL:<http://www.idumi-fukushikai.or.jp>

＜ 編集委員 ＞

ボランティア団体:西嶋 いづみ家族会:青山

法人職員:丸岡伸、大久保、服部、石崎、土井